

お知らせ

2011年度

風評被害地域の農家支援について(第2回)

～「企業マルシェ」としての対象産地野菜販売会(第2回)を開催～

各 位

JXグループは、グループ行動指針「EARTH-5つの価値観」の一つである「社会との共生」に基づき、(社)日本経済団体連合会による震災復興支援活動とも連携し、原発事故に伴う風評被害を受けている東北・関東地方(注1)の農家の方々に支援しております。

その支援策の一つである対象産地野菜の販売会は、「企業マルシェ(注2)」として、出荷制限の対象となっていない安全な野菜を社員向けに直接販売するというものです。本日、JXビル1階ロビーにて開催した第2回販売会(注3)では、全国農業協同組合連合会(JA全農)から次の6県産7種類の野菜を取り揃えたところ、約40分間で完売となりました。

①福島県産アスパラ(約130束)、②茨城県産レタス(約100玉)、③栃木県産トマト(約200玉)、④群馬県産きゅうり(約300本)、⑤埼玉県産こまつな(約100束)、⑥千葉県産かぶ(約100束)、⑦茨城県産いちご(約140パック)

この野菜販売会につきましては、今後も県や関係団体等と調整のうえ、順次開催していく予定です。

また、JXビル地下1階のグループ社員食堂においては、食堂運営会社のご協力を得て、4月7日より当該地域産の野菜を食材として用いた料理も提供しております。

(注1)対象産地は、福島県、茨城県、群馬県、栃木県、埼玉県および千葉県の6県。

(注2)「企業マルシェ」とは、企業と特定の地域などが連携して、対面販売や通信販売等により、その地産食材を社員に斡旋提供する取組み。「マルシェ(Marché)」はフランス語で「市場」のこと。

(注3)第1回販売会は、4月8日、茨城県産野菜を対象に開催。

以 上



風評被害地域産の野菜販売会の様子